

# PIIA Knots

Public Interest Incorporated Association  
 公益社団法人ノッツ  
 Knots NEXT 'One World, One Life'

公益社団法人Knots ノッツ・結び目  
 WEBサイト <http://knots.or.jp>

【今号のメッセージ】

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社  
 神戸支店

支店スタッフ 担当次長 和田由佳

私は損害保険会社に勤めていることから、小学生向け防災イベントのお手伝いをする機会がありました。テーマは「ペットとの災害避難マップを作ってみよう!」です。

神戸市が8月に「災

♥ 公益社団法人Knots(結び目)は、「人と(ヒト以外の)動物の幸せな共生」をテーマに主に社会教育事業を行っています。

♥ Knotsが日頃お世話になっております素敵な皆さまから、メッセージを頂クシリーズです。

## もしもの時の備えはできていますか?

ぼうさい探検隊を活用し、ペット同行避難を考える

帰宅したとき、ペットの顔を見るとホッとします。人に癒しを与えてくれます。

そんな、家族の一員であるペット、災害時一緒に避難するための備えはできていますか?

害時のペットとの避難ガイドライン」を作成されたことをきっかけに開催されました。

神戸市よりこのガイドラインに基づいて、ペットの飼い主向けに、しつけや備蓄品など、平時から備えておくべきことや災害時にとるべき行動、避難所でのペットを飼っていない方への配慮などについてのお話をい

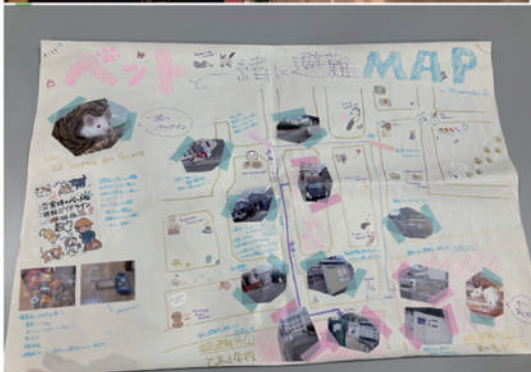
た。本損害保険協会が推進している、小学生を対象とした実践的な安全教育プログラム「ぼうさい探検隊」の活動についてご

案内し、ペットと一緒に避難するためのマップの作製について説明させていただきました。

子どもたちは、ペットと一緒に避難するために必要なもの、とても興味深く話を聞いてくれました。

マップは実際に自宅から避難所までについて作成します。避難ルートを確認し、ルート上の注意すべき場所の写真を張ったり、コメントをしたり、さらに、ペットと一緒に避難するために、餌やトイレのこと、水は? ゲームは? 避難所はペットの受け入れが可能か? そのような気付きをマップに表記します。

子どもたちは、楽しみながらペットと一緒に避難することについて考えることができたと思います。もしもの時の備えについて、皆さんも一度、振り返り



てみてはいかががでしょうか。

阪神・淡路大震災を教訓に考えられた「ぼうさい探検隊」、ペットと安心して暮らせるよう、これを活用した取り組みを今後も継続できればと思います。

\*災害時のペットとの避難ガイドライン(神戸市)  
 ↓ <https://www.city.kobe.lg.jp/a84140/kenko/health/hygiene/animal/bousai.html>  
 \*ぼうさい探検隊  
 ↓ [https://www.sompo.or.jp/about/efforts/reduction/bousai\\_sp/](https://www.sompo.or.jp/about/efforts/reduction/bousai_sp/)